



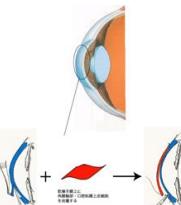
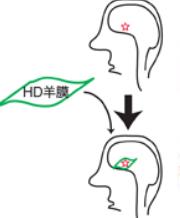
新規治療材料（方法）開発の為のトランスレーショナルリサーチ

新規コラーゲンシートを用いた再生医療材料の作製に関する研究

技術分野分類 7002 : 應用藥理學

技術キーワード L：ヒト組織利用研究

產業分類 P-83：醫療業

内 容	概要	再生医療をはじめとする医療現場では、現行の乾燥羊膜シートでは強度の不足から治療への適用範囲が狭い。そこで、“強度を高めたヒト乾燥羊膜を製造するための技術”を構築し、治療に困難な重症角膜穿孔の治療や鼓膜再形成術に新たな材料（治療法）を提供することが目的である。さらに、その乾燥工程を利用して器官を再生させる際の足場の形成技術を構築することを試みる。																								
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	本研究の背景にはヒト由来コラーゲンシートを約100症例に利用した実績がある。このコラーゲンシートの強度を増加させることで、適用範囲が広がる。その加工技術で、強化コラーゲンシートの形状を立体的にも自由自在にできれば、これまでにない材料（治療法）の開発へつながり、優位性がある。																								
	本技術の有用性	強化コラーゲンシートにより、現在治療不能な疾患が治療可能となる。また、治療不可能な疾患（人工気管・人工食道の開発が必要な疾患）に対して新たな治療材料（治療法）を提供することができ、有用である。																								
関連情報 (図・表・写真等)	   	図1 眼科領域 図2 脳外科領域 図3 歯科口腔外科領域 図4 耳鼻科領域 <p>【経時的な耳内スコープ所見 HD乾燥羊膜</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1週間</th> <th>3週間</th> <th>3週間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②耳漏の減少</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>③生着性</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>④被覆範囲</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>⑤創部へのfit</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>血管新生</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>+</td> </tr> </tbody> </table>		1週間	3週間	3週間	②耳漏の減少	3	3	-	③生着性	-	3	3	④被覆範囲	3	-	3	⑤創部へのfit	3	-	-	血管新生	-	-	+
	1週間	3週間	3週間																							
②耳漏の減少	3	3	-																							
③生着性	-	3	3																							
④被覆範囲	3	-	3																							
⑤創部へのfit	3	-	-																							
血管新生	-	-	+																							
適用可能製品		1) 難治性眼表面疾患に対する羊膜を用いた治療法（京都府立医大眼科グループでは角膜移植の代替え技術の一部に利用） 2) 脳硬膜欠損部の再建治療に利用 3) 口腔粘膜欠損部の再建の為に利用する被覆材 4) 耳鼻咽喉科領域の骨膜欠損部の再建に利用する被覆材																								
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	岡部素典・二階堂敏雄 富山大学大学院 医学薬学研究部（医学系） 再生医学講座 助教・教授																								
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	富山大学 地域連携推進機構 産学連携部門 076-445-6940 / 076-445-6939 yamana@ctg.u-toyama.ac.jp																								

■知的財産 1)PCT/JP2006/316269. 乾燥羊膜及び羊膜の乾燥処理方法. 岡部素典、二階堂敏雄, 2) PCT/JP2008/052973. 医用代用膜、その使用及び生体内部の膜組織の修復方法. 岡部素典、二階堂敏雄

■試作品状況 無 提示可 提供可

提示可

提供可

作成日 2012年11月14日